

新型コロナウイルス関連対策本部ニュース

日本共産党大阪府委員会 発行 vol.3 2020.3.13

困りごとの聞き取り・懇談を各地で

新型コロナウイルスの影響が多岐にわたって広がる中、住民の困りごとの聞き取りや、情報提供の活動が各地で始まっています。

西港浪速地区委員会では、日曜版に折り込むとともに、支部の方がビラを持って支持者との対話にも活用。対話のなかで、「介護施設にマスクがなくて困っている。どうにかならないか」の相談などが寄せられています。

淀川東淀川地区委員会は、保健所や行政区の相談センターの電話番号を掲載。地区に寄せられている声も紹介し、「お聞かせください」と呼びかけています。

木津川南地区委員会でも、行政区ごとの保健所、受信相談センターの連絡先を入れたビラを作成。声欄とともに、この間の国会論戦で勝ち取ってきた実績を紹介しています。

※左からそれぞれ、西成区委員会、西港浪速地区委員会、淀川東淀川地区委員会のビラ

●“悪夢の安倍政権”終わらせ、共産党のがんばりで国を変えて！

「3月末以降の生活に困っているのは、…安倍晋三が名指した、トレーニングジムも含まれていることを国会でお伝えしたい」と訴えるメールが、府委員会に届きました。大阪市で委託されたスポーツジムで働く20代の方です。

新型コロナの影響でジムが休業、再開のメドもなく、「私たちのようなフリーターと言われる職業弱者は、『自己責任』という言葉で切り捨てられている」と不安と怒りを綴ります。この方は最後に、「一刻もはやく、悪夢の安倍政権が終わり、共産党の皆さんの頑張り、日本が本当に優しく、誰もが暮らしやすい国へと変わるように願っています」と党への期待を語っています。